

神路ダム・磯部浄水場他施設環境保全業務委託特記仕様書

第1条（適用）

- 1 本特記仕様書は、志摩市上下水道部（以下「発注者」という。）の発注する神路ダム・磯部浄水場他施設環境保全業務委託に適用するものとする。
- 2 受注者は、設計図書・業務委託契約書・志摩市会計規則を遵守し、業務を遂行するものとする。

第2条（目的）

本業務は、神路ダムの適正な管理、神路ダム・浄水場内・浄水場周辺・恵利原調整池周辺・送水管路敷・導水管路敷の環境美化を目的に、除草集草、散在塵芥処理（木片等）を行うものとする。

第3条（疑義）

本仕様書に定めない事項については、必要に応じ協議してこれを定めるものとする。

第4条（業務の内容）

- 1 除草工事の各工種区分は別図のとおりである。

工 種	神路ダム周辺	浄水場内	浄水場周辺	恵利原調整池周辺	送水管路敷	導水管路敷
機械除草工（法面）	ダム堤体（下流側）					
機械除草工（一般）	ダム周辺、ダム艇庫周辺	浄水場内	浄水場周辺	調整池周辺	神明加圧	導水管路敷
機械除草工（道路）	ダム堤体道路			調整池周辺道路	池田川・穴川・鵜方	
人力除草工（一般）	ダム堤体（ダム湖側）					
散 在 塵 芥 処 理 工 （木片等）	神路ダム堤体部分（ダム湖内側）					
タンク周り除草				タンク周り		

- 2 除草については、堤防除草については地上高 10 c m 以下、機械除草については地上高 5 c m 程度に刈り込むものとする。
- 3 刈取った草木等については、太さ 10 c m 以下、長さ 100 c m 以下に切断し迫子最終処分場に搬入することとする。なお、受注者は搬入前に発注者と搬入方法、搬入時期、条件等について協議するものとする。
- 4 神路ダム周回道路について指定する部分の路肩清掃をするものとする。
- 5 恵利原調整池周辺の指定する側溝の清掃をするものとする。
- 6 磯部浄水場内及び周辺の指定する箇所の機械除草・芝刈りを実施するものとする。また、施工方法について事前に発注者と協議し、その指示により実施するものとする。
- 7 受注者は、業務実施に伴って生ずる塵芥、土砂、汚泥等の廃棄物をその責任において、処理するものとする。なお、処理に当たっては、第 3 者に損害および迷惑をかけないように十分注意しなければならない。
- 8 発生材は、発注者の指示により処理するものとする。
- 9 廃棄物、発生材は、原則としてその日のうちに処理するものとする。

第 5 条（施工時期及び回数）

- 1 除草工の施工時期については、1 回目除草は 7 月上旬から 8 月上旬まで、2 回目除草は 1 0 月下旬から 1 1 月下旬頃までに実施するものとし、やむを得ず履行できない場合については発注者と協議するものとする。
- 2 施工は、官公庁の休日又は夜間については作業を行わないものとし、やむを得ず作業を行う場合は事前に理由を付した書面を提出し、発注者と協議するものとする。
- 3 散在塵芥処理工（木片等）の施工時期は除草工と併せて行うものとする。

第 6 条（通報等）

- 1 受注者は、常に発注者と連絡のとれる態勢を心掛けなければならないものとする。
- 2 受注者は、第三者から通報・連絡等があった場合は、丁寧に対応し、その内容をすみやかに発注者に報告しなければならないものとする。

第7条（発注者の承認、確認等）

- 1 業務着手前に、作業工程・作業方法・作業範囲・処分方法等について、発注者と打合せを行い、承認を得るものとする。
- 2 除草作業終了後は、発注者が確認を行うものとする。
- 3 散在塵芥処理工（木片等）は、作業終了後に発注者が確認を行うものとする。
- 4 草及び枝等を堆肥化などのリサイクルをする場合は、発注者と協議し、承認を得るものとする。
- 5 作業上不明な点が生じた場合は、速やかに発注者に報告し協議するものとする。
- 6 受注者は発注者が立会を指定した業務については、発注者の立会を得て実施するものとする。
- 7 受注者は、業務実施に当たり、発注者の立会を必要と認めたときは、発注者に立会を求めることができるものとする。
- 8 業務責任者は、業務実施に当たっては、業務計画書、工事写真、その他出来高の確認に必要な資料を作成し、発注者の指示に従い提出するものとする。

第8条（環境対策）

- 1 本工事は、水道用水の水源である神路ダム及び水道用水を供給する施設の周辺の除草であり、衛生的見地により十分注意を払うものとする。
- 2 作業中は、既設構造物及び樹木・芝等に損傷を与えないよう留意するものとする。万一損傷を与えた場合は、受注者の負担においてこれを補修するものとする。
- 3 除草の際、他の施設等に草が飛散しないように努めることとする。
- 4 受注者は、業務が完了したときは、直ちに後片付けおよび清掃等を行わなければならないものとする。
- 5 業務が着手した日に完了しないときは、発注者に報告するとともに、他に危険が生じないよう必要な保全施設等の措置を講じなければならないものとする。

第9条（交通規制）

- 1 受注者は、業務実施に当たって交通規制を必要とするときは、あらかじめ発注者に申し出てその指示に従わなければならないものとする。
- 2 業務実施に当たって交通に危険を及ぼす恐れがあるときは、バリケード、保安ロープ、セフティコーン、赤色灯、標識等によるほか、必要に応じ交通整理員を配置して交通の安全を確保しなければならないものとする。